

研究者のための学術情報流通論

Academic Information

担当 逸村裕(図書館情報メディア系 教授)

大学院共通科目 01ZZ205 1.0 単位

日程 春 AB 集中

4/26(土)2-5 限

5/31(土)3-5 限

6/14(土)3-5 限

教室 春日エリア 7 C103 教室

概要 学術情報流通は人文学から自然科学に至るまで、どの分野においても学術の根幹である。数年前まで、日本人の科学論文生産は世界全体の約 10%を占めていたが、この数年その比率は落ちつつある。学術情報流通は年商 100 億ドルを超え、年成長率 5%のグローバルビジネスでもある。1665 年学術雑誌創刊以来の学術情報流通について、研究者が知るべき内容を中心に講義する。学術制度の成り立ち、査読制度、メディア変革の歴史、シリアルズクライシス、電子ジャーナルとコンソーシアム契約、インパクトファクターの実態と問題点、研究評価、オープンアクセス、機関リポジトリ、オープンアクセスジャーナルそして日本の独自性が主なトピックスである。学術情報流通は劇的な変化を遂げつつある。学術情報の生産者である研究者が知るべき現代学術情報流通への理解を深めることを目的とする。

事前課題

受講者各自の属する専攻での「学術情報流通と評価」について調べてくる。

例：(1)英文査読学術雑誌論文（できれば第一著者）が最重要

(2)ワーキングペーパーがその次に重要

※事前課題の報告は 4/26 午後に求める。

質問等のある方は逸村へメールください。

hits@slis.tsukuba.ac.jp